

# 共に生きる

鹿児島県立武岡台高等学校

が見え始めたばかりの頃で、生徒の多くがスマホを持ち、タブレットPCが授業で活用される現在の学校を考えると、普通科と情報科学科の併設を決断された当時の関係者の先見の明には驚かされます。

## 校訓と教育指針

教訓は「剛・創・寛」。古来、理想的な人間像として健全な魂が宿る健全な身体が求められていたことから「剛（こう）」「情報化が進んでも機器を操る人間の創造力が豊かでないならば意味がないことから「創（そう）」、寛い心をもった人間に成長して欲しいことから「寛（かん）」が定められました。

また、教育指針として社会学者トラーの「これからの世界は、民族・言語・歴史・習慣・教育など、様々な違いをありのまま認めようという世界的な問題について議論し、共通点や解決策

を出していく世の中になるであろう」という考えをヒントに「共に生きる（ミット・レーベン）」を掲げています。これは最近のSDGsの考えを先取りしたものだといえるでしょう。

## エンブレム

「エンブレム」は、三年生が特色のある武岡台高校を築いていこうという思いを託す「漢字一文」を公募で選んだもので、各クラスや学校の要所に掲げられています。平成11年度の「咲」に始まり、令和4年度は「結（ゆい）」が選ばれ、日常の活動や文化祭のテーマなど、生徒・職員が教育活動に取り組みの際、もう一つの指針となっています。

（教訓 濱田 淳一）

## 校舎

本校は鹿児島市西部の高台「武岡」に位置し、眼下には鹿児島市街・錦江湾・桜島を望む自然が豊かな場所にあります。開校した昭和62年は今で言う社会の1丁化の兆し



書道部による新入生向けパフォーマンス。  
エンブレム「結」をテーマにした発表

今年度から新たな取り組みとして、長年実施してきた朝課外を廃止し、生徒が自ら課題を見つけ学ぶ時間を設定しました。「ゆとりをもって登校できる」「自分の理解度に応じた学習ができる」など、生徒・保護者の皆様からは、概ね良い評価をいただいております。

今後も生徒・保護者・



校舎外観